

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 県立学校給食衛生管理事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校給食係 電話番号：058-272-1111(内8715)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,010 千円 (前年度予算額： 12,792 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,792	0	0	0	0	0	0	0	12,792
要求額	12,010	0	0	0	0	0	0	0	12,010
決定額									.

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

特別支援学校や夜間定時制高校の児童生徒へ提供する給食の形態は違うものの、安全・安心な学校給食の提供が第一である。各学校においては、学校給食衛生管理基準に基づいた調理作業等が実施されている。季節性であったインフルエンザの流行が年間を通してみられることや新型コロナウイルス感染症への対応のため、さらに衛生管理の徹底が必要となっている。

(2) 事業内容

学校給食衛生管理基準に基づいた給食調理業務に係る衛生物品の購入。
学校給食従事者及びそれらと同程度となる作業をする教職員に対して、学校給食衛生管理基準に基づく検査等を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

学校給食の安全な実施は学校設置者に責任があり、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	5,514	二次調理も含めた給食調理業務に必要となる衛生管理物品の購入
役務費	5,887	検便検査料、ノロウイルス検査料、食品検査料
委託料	609	害虫駆除料
合計	12,010	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・学校給食衛生管理基準

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

令和7年度当初予算

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

特別支援学校・夜間定時制高校において、衛生面に配慮した調理作業を行うための整備をする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

衛生管理に関する事業のため、指標の設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	学校給食衛生管理基準に基づいた給食調理業務に係る衛生管理を実施 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	学校給食衛生管理基準に基づいた給食調理業務に係る衛生管理を実施 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>学校給食を安全に提供するためには、調理作業において衛生管理の徹底が必要であることから必要不可欠である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり</p> <p>2: 期待どおりの成果あり</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>二次調理従事者の検便検査も継続して行うことで提供する児童生徒への安全が確保されている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>調理員等の人数変動による学校からの要望に基づき、令達して実施することができた。また、衛生環境の整備を実施することができた。</p>

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
学校により提供される給食の内容に違いはあるが、それぞれの学校における学校給食の在り方について検討し改善をしていく必要がある。

旅費

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

夜間定時制高校、特別支援学校の児童生徒の状況に合わせ、より安全で安心な学校給食を提供するために必要であるため継続した要求をしていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	